

【出席率】 会員58名中38名

【先々週の出席率】 94.00%

【ヴィジター】

三条RCより 五十嵐晋三君

【先週のメークアップ】

5/23 地区協議会(柏崎)へ

佐藤嘉男君 荒澤威彦君 大溪秀夫君
丸田肇一君 鈴木武君 星野健司君
広岡豊樹君 田中悌司君 安達裕君
三野輪明人君 永桶俊一君 馬場信彦君
野崎正明君 田代徳太郎君



国際ロータリー会長	李東建[韓国]
第2560地区ガバナー	馬場信彦[三条南]
第4分区AG	古井辰禧[吉田]
会長	吉井正孝
幹事	鈴木圀彦
S A A	野中悟

事務局

〒955-8666 三条市旭町2-5-10

三条信用金庫本店内

☎0256-35-3477 Fax 0256-32-7095

E-maile info@sanjo-minami.jp

URL <http://www.sanjo-minami.jp>

会長挨拶

吉井 正孝 会長

こんにちは。今日のお客様は、三条RCから五十嵐晋三さん、ようこそおいでくださいました。どうぞごゆっくりお過ごしください。

さて、メキシコ発の世界を震撼させていた「新型インフルエンザ」は、日本国内への感染を阻止すべく、空港や港湾を中心に敷いた世界一の水際作戦の網の目をくぐり抜け、とうとう神戸・大阪地区で発症を見ました。しかし厳戒対応が功を奏し、しだいにそのウイルスの「正体」が明らかになるにつれ対応も確立。今段階、この病気による死者は、日本では発生していません。

まだ結論を云々する時点ではないのかも知れませんが、昔流行った「スペイン風邪」のそれと全く状況を異にしておるようです。これが長年の間に培った「学習効果」と言う事でしょう。医学の進歩と情報伝達の早さ。加えて日本人の衛生思想に裏打ちされた真面目な「精神構造」も、大きく貢献しているものと思われます。

ところで、以前に例会でもお話ししたことがあるかも知れませんが、佐渡でその生涯を懸けて国際保護鳥 トキの「保護と繁殖」にあたった近辻宏帰氏が亡くなりました。満66歳の生涯でした。5月のGWも終りを告げようとする5日「子供の日」の出来事でした。

彼が初代の佐渡トキ保護センター長として島に赴任してから、昨年9月の「自然放鳥」に至るまでの足跡は、NHK「プロジェクト-X」でも紹介され、感銘を受けた方も多いかと思います。ここに至るまでの彼の四十数年間は、一言では語り尽くせない「いばらの道」の連続でした。彼が佐渡でトキの研究を始めた頃は、トキの専門家は彼ただ一人。そんな彼も、実際のトキについては「試行錯誤」の連続だったと言います。その頃飼育していたトキ同士の「ペアリング」は次々に失敗。おまけに病に倒れたり、高齢により日本古来のトキは次々と死んでいく。こうした事実、佐渡島民からは「トキ殺しの近辻」と、公然と近辻排斥運動まで起こされました。それでも彼は唇を噛みながら、じっとそれに耐えていた姿を今も思い出します。

昨年9月。目標だった自然放鳥を終え、自身も定年を迎えてセンター長の重責を後進に譲った11月、昔の仲間14名と当南RC米山奨学生のタキ君も加わって一泊の小旅行、佐渡に近辻氏を訪ねました。進行性の「喉頭癌」に蝕まれた彼は、トキの顔のように細く痩せこけてしまっていました。それでも頑張っていて奥さんと一緒





に宿の手配から、放鳥トキを観察しながら島内を案内してくれ、夜は二次会・三次会まで、酒を飲んだり唄ったり、楽しく一夜を過ごしました。しかし殆んど、食事には、手がつけられない状態でした。

以前、私が送ったマルヨネさんの「麩」に、「あれは自然食品でいい。スルッと食べられる…」と喜んでいました。それから2~3度、麩を送るとその都度、元気な声と近況が帰ってきていました。センター長を辞してから、トキ保護センターを訪れる見学者には、率先して「案内役」をかって出ているとの事。普段あまり面識のない人から、「佐渡でトキ保護センターへ行ったら、あの近辻さんが居て、丁寧に説明をしてくれて感激したヨ…!」「その時、吉井さんに宜しくって言ってたよ…」と電話を頂き恐縮したものでした。

海を隔てていても同じ「新潟県民」。会おうと思えばいつでも会える…と思いつつ、彼との45年の付き合いは、彼が講演活動も含め三条を訪れたのが5回。私が4回佐渡で会っただけの「細くて長い親友」でした。死の直前まで、飼育しているトキの「観察ノート」を書きながらトイレで倒れた彼は、ある面、「研究者冥利」に尽きる人生だったのかも知れません。しかし私にとっては、またひとつ「青春の灯」が消えたと、暫くの間、元気も湧かない日々でした。

今日の会長挨拶はこの辺で……。

《 P.S 》 5/23 柏崎での地区協ご出席の会員各位へ……

どなたかブレザーの南RC「エンブレム」を紛失された方はありませんか……?

三条警察署で保管しているとの事。お心当たりの方は「印鑑」、本人と確認できる物(免許証・保険証等)持参の上、三条警察署「遺失物担当」まで……。

幹事報告

鈴木 罔彦 幹事

●例会場変更のお知らせ

6月1日、6月15日の例会は、通常例会場が都合により使用できません。

三条ロイヤルホテル 2F に変更させていただきます。(※例会時間は通常通り、12:30~13:30)

お間違えのないようにご出席下さいますようお願い致します。

6月のお祝い

* * おめでとうございます * *

会 員 誕 生

2日 熊倉高志君 15日 相田明雄君 18日 渡邊光郎君
21日 星野健司君 21日 田中悌司君

夫 人 誕 生

3日 馬場廉子(輝仁)さん

結 婚 記 念

10日 佐々木常行君・朋子さん 11日 平松修之君・貴子さん
14日 大溪秀夫君・明子さん



ヨコヨコボックス

～・ 5月25日 18,000円 今年度累計 942,894円 ・～

- 吉井君 暖房器具類を片付けたらまた少し寒くなってしまいました。いよいよ佐藤年度のスタート。今晚は、ファイヤーサイドミーティングです。いよいよ気合が入りますネ……!!
- 鈴木(罔)君 下の娘の結婚式に南クラブより祝電をいただきまして有難うございました。30前にしてようやく嫁に行きました。
- 佐藤(嘉)君 23日(土)の地区協議会出席有難うございました。今日、感想発表の3名の方、よろしく願い致します。
- 馬場(信)君 5/23(土)地区協議会に出席、5/24(日)越後魚沼RC主催の「シャンソンの夕べ」に出席。特に地区協では廣畑富雄(福岡西RC)先生ご夫妻とお隣の席で親しくお話できました。
- 吉田(秀)君 血液検査の結果、心臓への負担が通常の10倍と言われ、いよいよ来たかと思いましたが、眼科の先生に目薬のせいと言われたことを思い出しました。

安達君、荒澤君、佐々木君、田代君、田中君、野崎君
BOXに協力致します。

元会員 永桶栄資君 ロータリーの手帳を分けていただきました。有難うございました。この手帳はとても使い良いので。
平松君 本日、ニコニコ担当です。皆様のご協力、有難うございました。

CLUB FORUM

「地区協議会報告」

2009～2010 年度地区協議会

5月23日(土) 於：柏崎市総合体育館、新潟産業大学

■佐藤嘉男会長エレクト (第1セッション 会長幹事部会)

I ジョン・ケニー (スコットランド、グランジマウスRC)

R I 会長メッセージ

●テーマ

「THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS」

—— ロータリーの未来は、あなたの手のなかに ——

「会長強調事項」

- ・水対策
- ・識字率向上
- ・保健および飢餓救済
- ・青少年奉仕 (危機管理)
- ・公共イメージを高める

「会長要望事項」

- ・ I クラブ少なくとも1人の会員増強
- ・ 80%の会員維持率
- ・ 1地区少なくとも1クラブの創立

「R I 長期計画」

- ・ ポリオの撲滅
- ・ 職業奉仕の強化
- ・ 公共イメージを高める
- ・ 会員組織の育成
- ・ 奉仕能力の増大を図る
- ・ 長期計画の推進
- ・ 会員拡大を図る



II 植木康之 (柏崎RC) ガバナーメッセージ

●地区運営方針

「BACK TO BASICS 思いやりの心で、友情を深める —— ロータリーの心と原点を大切に ——」

- ・ ロータリーの原点に立ち返り、さらなる向上を図る。
- ・ スリムな地区組織で運営する。
- ・ 各地域ひいては新潟県に根ざした活動展開をする。
- ・ ロータリー活動に参加する喜びを知らしめよう。

「地区重点目標」

- ・ 会員の退会防止と増強を図る
- ・ 会員強調事項の促進に注力する
- ・ ロータリー財団の寄附増進
- ・ 米山奨学会の寄附増進
- ・ サービスを基本とし、会員の友情を深める

III クラブ会長主要目標

09-10 三条南ロータリークラブのテーマ

2009-2010 年度 R I ジョン・ケニー会長が、マハトラ・ガンジーの“未来は私たちが現在成すことによって決まる”という言葉が引用され、ロータリーの発展は現状に甘んじているだけでは、十分とは言えない。これからの長い道程に備えて地図が必要となります。と言われてしています。

最近の壊滅的な経済情勢を考えると、大幅な会員増強は難しいと思われます。より効率のよい組織及び組織運営が求められています。

また、ジョン・ケニー会長は“組織全体を通じて経済性と一貫性を保つために長期計画の手順を完全に実施する”を実行するために、昨年 ガバナーを輩出し、膨大なロータリーの情報が入って来ました。それらの情報を生かし、CLPの導入によりクラブ運営の簡素化を図るためのプロジェクト。それと三条を愛し、よりよい三条を作るために、地元社会のニーズにあった南ロータリーの今後の社会奉仕を考えるプロジェクトを委員会とは別に作ります。これにより、単なる寄付団体や奉仕団体ではなく、サービスを基本とした活動を展開する団体になることができると思います。

地域のリーダーとして、三条南ロータリーの特性を出したロータリー活動を展開し、また、積極的にパブリシティ活動を行うことで、地元社会のより強いロータリークラブの認知を図りたいと思います。

「クラブ運営方針」

1. ロータリーの原点である、楽しく元気な例会と親睦活動
2. CLP導入による南ロータリーの長期計画の作成

3. 「女性会員」の募集も含め、会員純増 1 名
4. ロータリー財団・米山奨学・ニコニコBOXへの積極的取り組み

■田中悌司会員（第7セッション ロータリー財団部会）

財団部会概要説明

- ① 出席者：60 名位
- ② 植木年度 2009~2010 の重点目標
ロータリー財団の寄附推進
\$ 100 + ¥1,000（前期） + ¥1,000（後期）
PolioFive 撲滅への資源
- ③ 地区財団委員会
委員長 中條耕二（三条北RC）さん、挨拶
年次寄附・恒久基金について・・・ 田代徳太郎小委員長（三条南）
シェア配分・ロータリーカードについて・・・野崎正明財団副委員長（三条南）
- ④ 国際親善奨学生スピーチ

イタリアへの3ヶ月文化研修・・・非常に勉強になり、しかも幸せであったこの協議会、セッションに出席し、ロータリー財団の姿が望洋ながら見えてきた思いである。

■鈴木 武会員（第3セッション 職業奉仕部会）

このセッションのリーダーは、次年度地区職業奉仕委員長の柴野俊子さん（新潟万代RC）、アドバイザーは、パストガバナー栗山清さん（新潟東RC）でした。次年度の地区職業奉仕委員会の活動方針は次の2点です。

- ① 中学生の職場体験学習支援事業について
「職場体験」は文部科学省の推進事業で、生徒が事業所などで直接働く人達と接することによりまた、実際的な知識や技術等に触れることを通じて、学ぶことに意義や働くことの意義を理解し、学校から社会への移行をめぐる様々な課題を学習し、勤労観、職業観を育む体験活動を実践する。これについては、後日、市の教育委員会と連携し、各クラブの職業奉仕委員会に報告する。
- ② 「四つのテスト」の実践について
最近における企業の不祥事には、ロータリアンが関わる事件が報道されるケースが特に多い。これら全てに関し、自らの職業倫理の欠如としか言いようがない。ロータリーでは、この職業奉仕委員会が何よりも基本的な委員会で、他の奉仕団体ではあり得ない委員会でもある。少なくとも「四つのテスト」を月一回は歌唱し、できたら職場に「四つのテスト」を掲げてほしい。

■三野輪明人会員（第2セッション クラブ奉仕・地区拡大・会員増強部会）

5月23日（土）、柏崎で開催されました2009-2010年度地区協議会に出席して参りました。感想を簡単に述べさせていただきます。

【午前中は、】馬場ガバナー初め、たくさんのタイトル（役職）の方々のご挨拶がございました。

単純な感想ですが、ガバナーと言っても非常にたくさんいらっしゃるんだなあ！と思いまして、ちょっとメモしてきました。

- ① パストガバナー ② インカミングガバナー ③ アシスタントガバナー
- ④ 直前ガバナー ⑤ ガバナーアシスト と、私が気付いたものだけで5つはありました。

また、馬場ガバナーのご挨拶の中で、ジョン・ケニー国際ロータリー会長が訴えたい『ロータリーの未来はあなたの手の中にある！』という思いを、昔話に例えられて、わかりやすくお話して下さった事が、印象的でした。同時に、世界のトップの考え、方針というものが、しっかりと県の代表者を通じ、私たち一人一人までその考え、方針を理解する！という事の大切さを強く感じた次第であります。

【午後は、】各セッションに分かれ、私は、永桶さんと大溪さんと同じ会場だったのですが、新入会員へのインタビューで私が指されてしまい、新入会員としての感想を聞かれました。その中で、『先輩方からの教育やコミュニケーションはどうか？』と聞かれましたので、先般の親睦委員会で、次期会長の佐藤さんを中心とした懇親会があり、そこでしっかりとコミュニケーションをとることができたということ、また当然お名前は出しておりませんが、某マックの先輩と3時くらいまで更に深いコミュニケーションをとらせていただいた事なども報告させていただきました。

【最後に、】今回参加させていただきまして、ロータリアンとして、そして社会人として、大きな責任と使命を再認識する事が出来ました。